

宿題報告

HR-1 宿題報告 (1)

4月5日(木) 16:30～17:30 第3会場(東京国際フォーラム 7F ホール B7 (1))

司会: 公立昭和病院 上西 紀夫

HR-1 胃癌 真の予後規定因子は何か?

東京大学消化管外科 瀬戸 泰之

HR-2 宿題報告 (2)

4月5日(木) 16:30～17:30 第4会場(東京国際フォーラム 7F ホール B7 (2))

司会: 和歌山県立医科大学第二外科 山上 裕機

HR-2 Neoadjuvant chemotherapy の現状と将来展望

東北大学消化器外科 海野 倫明

HR-3 宿題報告 (3)

4月5日(木) 9:00～10:00 第5会場(東京国際フォーラム 5F ホール B5 (1))

司会: 愛知医科大学血管外科 石橋 宏之

HR-3 大動脈瘤と ASO に対するステントグラフトにより血管外科は外科学のメインストリーム
となる: 慈恵医大血管外科 12 年の軌跡

東京慈恵会医科大学血管外科 大木 隆生

HR-4 宿題報告 (4)

4月5日(木) 16:30～17:30 第5会場(東京国際フォーラム 5F ホール B5 (1))

司会: 名古屋大学心臓外科 碓氷 章彦

HR-4 心臓血管外科専門医制度への Off the Job Training 導入の現状と課題: いかに実力ある心
臓血管外科医を育てるか

日本心臓血管外科学会 横山 斉

HR-5 宿題報告 (5)

4月6日(金) 16:30～17:30 第4会場(東京国際フォーラム 7F ホール B7 (2))

司会: 順天堂大学肝胆脾外科 川崎 誠治

HR-5 生体肝移植—30 年を振り返って

医療社団法人大坪会東和病院院長 幕内 雅敏
(データ集計: 東京大学人工臓器移植外科 赤松 延久)

HR-6 宿題報告 (6)

4月6日(金) 16:30～17:30 第5会場(東京国際フォーラム 5F ホール B5 (1))

司会: 京都大学呼吸器外科 伊達 洋至

HR-6 肺内小病変切除のための位置同定法に関する研究の進歩

東京大学呼吸器外科 中島 淳

HR-7 宿題報告 (7)

4月6日(金) 16:30～17:30 第16会場 (JPタワーホール&カンファレンス 4F カンファレンスルーム A)
司会: 北里大学北里研究所病院外科 池田 正

HR-7 *BRCA1/2* 変異陽性乳がん患者に対する適切なマネージメントーリスク低減乳房切除術
の意義を含めー
昭和大学乳腺外科 中村 清吾
昭和大学乳腺外科 明石 定子
昭和大学乳腺外科 井手 佳美

HR-8 宿題報告 (8)

4月7日(土) 15:30～16:30 第2会場 (東京国際フォーラム ホール C)
司会: 明敬会重城病院外科 寺本 龍生

HR-8 下部直腸癌に対する括約筋間直腸切除術 (ISR) の有用性
大腸肛門病センター高野病院外科 山田 一隆

HR-9 宿題報告 (9)

4月7日(土) 15:30～16:30 第6会場 (東京国際フォーラム 5F ホール B5 (2))
司会: 慶應義塾大学小児外科 黒田 達夫

HR-9 小児外科領域における新規治療の開発ー難治性疾患に対する乳歯歯髄幹細胞を用いた新
規治療ー
九州大学小児外科 田口 智章

特別企画

SP-1 特別企画 (1)「サブスペシャル領域を見据えた新専門医制度のあり方」

4月5日(木) 10:30～12:10 第1会場(東京国際フォーラム ホールA)

司会： 名古屋大学消化器外科 小寺 泰弘
東京医科大学呼吸器・甲状腺外科 池田 徳彦

- SP-1-1-KL 基調講演 一般社団法人日本専門医機構理事長 吉村 博邦
SP-1-2 専門医制度のあるべきグランドデザイン構築と外科医の将来像 慶應義塾大学外科 北川 雄光
SP-1-3 今後の消化器外科専門医・指導医資格に係る制度設計について 弘前大学消化器外科 袴田 健一
SP-1-4 心臓血管外科領域：新制度に向けての取り組みと外科プログラムへの要望 川崎医科大学心臓血管外科 種本 和雄
SP-1-5 呼吸器外科領域の新専門医制度：基本概念 東京医科大学呼吸器・甲状腺外科 池田 徳彦
SP-1-6 小児外科からみた新専門医制度のあり方 日本小児外科学会理事長 越永 従道
SP-1-7 乳腺専門医育成のこれまでとこれから 杏林大学外科 井本 滋
SP-1-8 内分泌外科専門医 筑波大学乳腺甲状腺内分泌外科 原 尚人
SP-1-9 新専門医制度の主役は誰なのか？ 日本テレビ客員解説委員 高田 和男
SP-1-10 本邦における外科専門医研修の現状に関する全国アンケート調査結果報告 北海道大学消化器外科 II パウデル サシーム

SP-2 特別企画 (2)「診療ガイドラインの再評価—今後の方向性—」

4月5日(木) 10:30～12:00 第2会場(東京国際フォーラム ホールC)

司会： 光仁会第一病院 杉原 健一
昭和大学乳腺外科 中村 清吾

- SP-2-1-KL 基調講演：わが国のガイドラインの現状と問題点、今後の展望 京都大学健康情報学 中山 健夫
SP-2-2 胃癌治療ガイドライン第5版の基本方針と今後の方向性 帝京大学外科 深川 剛生
SP-2-3 大腸癌治療ガイドラインの今後の方向性 帝京大学外科 橋口陽二郎
SP-2-4 食道癌診療ガイドラインのあり方に関する考察と今後の方向性 国立病院九州がんセンター消化管外科 藤 也寸志
SP-2-5 肝癌診療ガイドライン 2017 年版改訂のコンセプトと次版の方向性 東京大学肝胆膵・人工臓器移植外科 長谷川 潔
SP-2-6 急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドラインの再評価と今後の方向性 国際医療福祉大学消化器外科 吉田 雅博
SP-2-7 JHS 鼠径部ヘルニアガイドライン 2015 の歴史と展望 日本ヘルニア学会ガイドライン委員長/市立四日市病院外科診療部長 蜂須賀丈博

SP-3 特別企画 (3)「外科医のインセンティブ導入をめざして」

4月5日(木) 10:30～12:00 第3会場(東京国際フォーラム 7F ホールB7 (1))

司会： 北里大学外科 渡邊 昌彦
大阪大学消化器外科 森 正樹

- SP-3-1-KL 基調講演：わが国の医療保険制度における外科手術の評価について 厚生労働省保険局医療課長 迫井 正深

SP-3-2	外科医に与えられるべきインセンティブとは	がん研有明病院	山口 俊晴
SP-3-3	佐賀大学方式によるインセンティブの導入と実績	佐賀大学一般・消化器外科	能城 浩和
SP-3-4	医師へのインセンティブ；山形大学での創設	山形大学	嘉山 孝正
SP-3-5	米国における外科医のインセンティブ	ハーバード大学ブリガムウィメンズ病院	金子 剛士
SP-3-6	英国における外科医のインセンティブ	国立国際医療研究センター外科	矢野 秀朗

SP-4 特別企画 (4) 「外科医の働き方改革：現状と改善方策」

4月5日 (木) 10:30～12:00 第5会場 (東京国際フォーラム 5F ホール B5 (1))

司会：三井記念病院 高本 真一

池友会福岡和白病院 富永 隆治

特別発言：厚生労働省医政局医事課 石丸 文至

SP-4-1	日本外科学会外科医労働環境調査から外科医の働き方を考える	北海道大学循環器・呼吸器外科	松居 喜郎
SP-4-2	外科医の意識と働き方改革—外科における男女共同参画はどうあるべきか？	東京慈恵会医科大学外科	川瀬 和美
SP-4-3	わが国への中間職種 NP/PA 制度導入について	防衛医科大学校名誉教授/蒲田リハビリテーション病院	前原 正明
SP-4-4	周術期管理 PA の創設に向けて—看護師ベースか and/or 臨床工学技士等ベースか—	ねりま健育会病院循環器科	西田 博
SP-4-5	How to start a revolution and maintain momentum—The success story of physician assistants in Germany	Dean of the Dept of Health Sciences, Baden-Wuerttemberg Cooperative State Univ, Karlsruhe, Germany	Marcus Hoffmann

SP-5 特別企画 (5) 「外科医に求められる医療安全—医療事故調査制度開始 2 年を経て—」

4月6日 (金) 10:30～12:00 第1会場 (東京国際フォーラム ホール A)

司会：三井記念病院 高本 真一

千葉大学先端応用外科 松原 久裕

SP-5-1	医療事故調査制度の現状と今後の展望	日本医療安全調査機構	木村 壯介
SP-5-2	センター調査の標準化の試み	山王病院・山王メディカルセンター血管病センター	宮田 哲郎
SP-5-3	医療事故の報告・学習システムや無過失補償制度の効果について	九州大学病院医療安全管理部/(公財)日本医療機能評価機構	後 信
SP-5-4	調査委員会で『手術の質』を評価するには	奈良県総合医療センター	上田 裕一
SP-5-5	医療事故の取材から見えてきた課題	読売新聞医療部	高梨ゆき子

SP-6 特別企画 (6) 「外科医のトレーニング技術の継承とは—」

4月6日 (金) 10:30～12:00 第2会場 (東京国際フォーラム ホール C)

司会：北海道大学循環器・呼吸器外科 松居 喜郎

北海道大学消化器外科 II 平野 聡

SP-6-1	若手外科医に対する顕微鏡下血管吻合技術の継承—ISEM 日本支部ハンズオンセミナーの活動報告	京都大学肝胆脾・移植外科	八木真太郎
--------	--	--------------	-------

SP-6-2	小児外科疾患に対する網羅的手術シミュレータの開発と検証—開放手術と内視鏡外科手術の双方の技術伝承を目指して	鹿児島大学小児外科	家入 里志
SP-6-3	高難度手術に際しての 3D プリント先天性モデルを用いた手術シミュレーションの有用性	国立循環器病研究センター小児心臓外科	帆足 孝也
SP-6-4	熟練者の“コツ”をいかに効率よく伝達するか：視野共有手法を用いた新たな腹腔鏡手術教育システムの開発	京都大学消化管外科	橋本 恭一
SP-6-5	術式別技能評価スケールを基盤とした内視鏡外科手術トレーニングプログラムの構築	北海道大学消化器外科 II	倉島 庸
SP-6-6	当施設が関わる外傷外科手術手技トレーニングの現状と課題	大阪市立大学救急医学	晋山 直樹
SP-6-7	カダバートレーニングにおける技術の継承	岡山大学消化器外科	近藤 喜太

SP-7 特別企画 (7) 「女性外科医のキャリアパス」

4月6日 (金) 10:30～12:00 第3会場 (東京国際フォーラム 7F ホール B7 (1))

司会：九州大学小児外科 田口 智章
東京大学消化管外科 野村 幸世

SP-7-1-KL	基調講演：外科医のワークライフバランスをめざして	九州大学保健学科	樗木 晶子
SP-7-2	育児中の日本外科学会会員の仕事とプライベートのストレス—働くドクターストレス調査結果から	東京女子医科大学心臓血管外科	富澤 康子
SP-7-3	女性医師支援の現状把握と今後の展望	東北大学乳腺内分泌外科	佐藤 章子
SP-7-4	女性外科医の妊娠・出産とキャリア	東京慈恵会医科大学外科	川瀬 和美
SP-7-5	大学1年生へのキャリア教育における短期的効果の検討	長崎大学地域包括ケア教育センター	久芳さやか
SP-7-6	Physician assistant 導入を実現せよ	NPO 法人医療制度研究会	本田 宏
SP-7-7	これからの外科医育成—多様な gender difference を考慮した、大学での実践例	順天堂大学乳腺科	齊藤 光江
SP-7-8	10年後の外科を見据えた女性医師支援とは	高槻赤十字病院外科	河野恵美子

映像による私の手術手技

VL-1 映像による私の手術手技 (1)

4月5日(木) 16:30～17:00 第2会場(東京国際フォーラム ホールC)

司会: 牛久愛和総合病院/東京女子医科大学名誉教授 亀岡 信悟

VL-1 進行結腸癌に対する単孔式腹腔鏡下手術 大阪大学消化器外科 森 正樹

VL-2 映像による私の手術手技 (2)

4月5日(木) 16:30～17:00 第6会場(東京国際フォーラム 5F ホールB5 (2))

司会: 公益財団法人茨城県総合健診協会会長 金子 道夫

VL-2 新生児・乳児卵巣滑脱ヘルニアの病態と治療 新潟大学小児外科 窪田 正幸

VL-3 映像による私の手術手技 (3)

4月7日(土) 15:30～16:00 第7会場(東京国際フォーラム 7F ホールD7)

司会: 上尾中央総合病院外科 若林 剛

VL-3 腹腔鏡下肝切除術: 拡大肝左葉切除術 東邦大学 金子 弘真

VL-4 映像による私の手術手技 (4)

4月7日(土) 13:30～14:00 第8会場(東京国際フォーラム 5F ホールD5)

司会: からすま和田クリニック院長 和田 洋巳

VL-4 心臓血管外科手術手技を用いた呼吸器外科手術 京都大学呼吸器外科 伊達 洋至

VL-5 映像による私の手術手技 (5)

4月7日(土) 15:30～16:00 第17会場(JPタワーホール&カンファレンス 5F カンファレンスルームB)

司会: 順天堂大学乳腺科 齊藤 光江

VL-5 根治性と整容性のバランスに配慮した乳癌の手術 昭和大学乳腺外科 中村 清吾

The 5th JSS/GSS Topic Conference

JG The 5th JSS/GSS Topic Conference [Upper GI-tumors]

4月6日(金) 10:30～12:00 第6会場(東京国際フォーラム 5F ホール B5 (2))

司会: Secretary General, German Society of Surgery, Berlin, Germany Hans-J. Meyer

名古屋大学消化器外科 小寺 泰弘

- JG-1 Hybrid minimal invasive esophagectomy for esophageal cancer—Technique and results
Markus Krankenhaus Frankfurt, Dept of Surgery, Frankfurt, Germany Arnulf H. Hölscher
- JG-2 Current status of minimally invasive esophagectomy for esophageal cancer in Japan
浜松医科大学第二外科 竹内 裕也
- JG-3 Should complex gastric surgery be centralized? Individual inpatient data from the
nationwide German hospital discharge data (DRG statistics)
Upper GI Working Group (CAOGI) of the German Society for General
and Visceral Surgery (DGAV), Berlin, Germany Dietmar Lorenz
- JG-4 Japanese adjuvant strategy for gastric cancer: Why not neoadjuvant?
がん研有明病院消化器センター外科 佐野 武